

意思決定支援とそのプロセスと実践・遂行の評価

社会情報科学部/情報科学研究科 円谷 友英

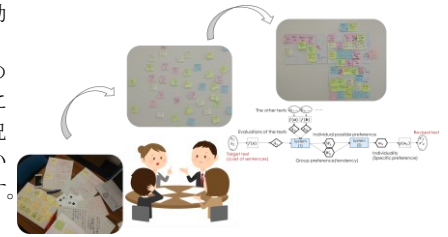


キーワード

意思決定、ファジィ理論、区間解析、オペレーションズリサーチ

研究概要

経営や政策、そして個人の意思決定を工学や数学の視点から研究していますが、その過程で当たり前を疑うという姿勢が重要だと感じています。日常生活で意思決定を行う際、合理的で効率的な結果を期待される一方で、時にはそのプロセスに違和感を抱くこともあります。たとえば、個人の意思決定のひとつキャリアにおける進路選択は多くの人に共通する悩みですが、個々の状況や価値観によって異なる側面があります。合理性や数値化といった一般的なアプローチにとらわれず、人間の複雑さや測定の難しさも考慮して、意思決定プロセスや実践の現場の状況や声を反映したアプローチを追及しています。単純な合理性や数値化だけでは理解しきれない複雑な現実をより深く掘り下げ、意思決定のありのままの姿を見える化することを目指しています。



アピールポイント

意思決定プロセスや実践や遂行の局面における科学的アプローチを支えることを目標にしています。効率化合理化一辺倒を疑い、何のために必要なかを問い直しながら、政策や経営といった公的な場面、個人のキャリアといった私的な場面の両方を、工学の視点から取り扱い、その先の人間の行動をデザインするまでを視野に入れて取り組んでいます。

応用分野

経営や政策に関わる意思決定、キャリアに関する意思決定支援、グループ意思決定支援、グループワーク支援とその評価、個性の評価と相対的な選好抽出など。